

中学校第2学年 国語科学習指導案

1. 単元名と単元目標（光村図書）

単元3 言葉と向き合う～表現を味わい、言葉の世界を広げる

【短歌・解説】新しい短歌のために

単元5 いにしえの心を訪ねる～昔の人のものの考え方に触れ、古典に親しむ

【古文】扇の的―「平家物語」から

2. 指導目標

【関心・意欲・態度】「百人一首の世界」を楽しみ、古典文学に興味・関心を持たせる。

＜評価規準＞「百人一首」に興味・関心を持ち、学習コンテンツの様々なページを積極的に調べようとしている。

【読む・伝国】和歌に描かれた四季の自然に対する当時の人々の感じ方、考え方を捉え、古典に対する見方を広げさせる。

＜評価規準＞学習コンテンツの様々な内容を理解して、自分なりの感想をもてる。

【話す・聞く】「百人一首」の和歌に出会うことで気づいた、新たな美しさや自分自身の心のありようについて友だちと話し合わせる。

＜評価規準＞相手に伝わりやすいように工夫して発表したり、自分の考え方と比較して発表内容を聞いたりすることができる。

【書く・言語】興味を持った「百人一首」の和歌について学習コンテンツで調べ、紹介文にまとめて交流させる。

＜評価＞歌人の生涯や歌の背景について調べ、その人物像や好きな歌の魅力についてまとめることができる。

3. コンテンツ活用により期待できる効果

- ・コンテンツやワークシートを用いて、同じテーマの和歌を読み比べたり、歌人のエピソードを知ったりすることで、古人が育んできた美意識や人間の価値観について理解を深める。また、現代の人々に通じる思いにふれることができる。
- ・「百人一首」の様々な情報を取捨選択し、テーマを決めて文章をまとめる活動につなげることができる。教科書で紹介されている和歌だけでなく、さらに多くの和歌に親しむきっかけになる。
- ・「百人一首」を窓口として、他の古典作品とのつながりを知り、探究学習へとつなげる。

4. 指導計画（全4時間）

時	学習内容	●コンテンツ ★ワークシートの活用
1 ・ 本 時	・現代まで読み継がれてきた「平家物語」から和歌のエピソードを知る。 ・桜を題材にした「百人一首」の6首9番・小野小町、33番・紀友則、61番・伊勢大輔、66番・前大僧正行尊、73番・権中納言匡房、96番・入道前太政大臣の歌を音読し、それぞれの歌の意味を理解する。 ・それぞれの歌の共通点や相違点について考える。	「新しい短歌のために」（近代短歌）の学習、「平家物語」の学習をふまえて、昔から人々に愛され続けてきた短歌のルーツについて「百人一首」の和歌から学ばせる。 ・「百人一首」の中には「平家物語」で語られる源平の動乱期を生きた歌人たちもいる。歌道の師である83番・藤原俊成に自分の和歌を託して都落した平忠度の話は有名である。（巻七『忠度都落』巻九『忠度最期』）その時代の人々の和歌にかかわるエピソードを知る。 ★ワークシート3「平家物語」と和歌『忠度都落』 ★ワークシート4「百人一首の桜の歌を味わおう」 ●HOME「1和歌の味わい」83.9.33.61.66.73.96番 現代訳や鑑賞、写真を提示して、歌の意味や歌が詠まれた背景について理解を深めさせる。 ●HOME「2歌人紹介」83.9.33.61.66.73.96番 についても紹介しておく。

2 3	・「百人一首の世界」コンテンツの使い方について知る。 ・桜をテーマとした6首の歌にかかわるページを閲覧しながらワークシートにメモを取る。 ・6首の中で、一番好きな歌を一首選び、伝えたい内容を決め、ワークシートに推薦文を書く。	★百人一首の世界コンテンツ利用のてびき ●HOME「1 和歌の味わい」83. 9. 33. 61. 66. 73. 96 番 ●HOME「2 歌人紹介」83. 9. 33. 61. 66. 73. 96 番 ●HOME「5 和歌技法」●HOME「6 生活文化」 利用のてびきを参考にして、6人の歌人のエピソードや歌の表現技法についても調べ、歌人の人柄や、歌に込めた思いを考えさせる。 選んだ歌の魅力を340字から400字にまとめさせる。 ★ワークシート5「私の好きな桜の歌」 生徒に好きな歌を自由に選ばせたい場合は ★ワークシート6「私の選んだこの一首」を使う。 ※参考となるwebコンテンツ「平家物語」の世界によるこそ http://mie-ict.sakura.ne.jp/HeikeHP/ ※関連する教科書教材 <2年>P145 人物の特徴を捉えて論じよう
4	・推薦文の交流会を行う。	・好きな桜の歌の推薦文をグループや全体で交流し、自分が選んだ歌以外について理解を深めさせる。

3. 本時の指導過程（50分）

教科目標

- ・コンテンツを通して、和歌を題材にした作品にふれ、古典文学を身近に感じることができる。
- ・「百人一首」の和歌や歌人のページを調べることで、当時の人々の喜びや悲しみ、生き方や考え方を理解することができる。
- ・歌の世界を通して、自然の美しさや人の心を巧みに表現した言葉を知り、語彙を豊かにすることができる。

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	1. 前時の学習についての確認 「平家物語」では武士の姿が生き生きと描かれていたが、「扇の的」の話の前、平家の人々が都を落ちていく時のエピソードの一つ読む。	★ワークシート3「平和物語」と和歌『忠度都落』の配布 平家の武将忠度と83番・藤原俊成の関係について簡単に説明する。
展 開	昔の人々はどのような思いで花を見ていたのか考えてみよう。 忠度や、師の俊成の言動についてどう思ったか感想を述べる。 2. 「百人一首の世界」コンテンツを使って83番・藤原俊成の歌や経歴について知る。 ・朗詠を聞きながら、和歌の意味を知る。 3. 「百人一首」に花を詠んだ歌は何首あるだろう。	「忠度最期」には、討たれた忠度の簀（えびら：矢を入れて右腰につける武具）に和歌が結び付けられていたと描かれていることを紹介する。 「ゆきくれて 木(こ)のしたかげを やどとせば 花やこよひの 主(あるじ)ならまし」(旅の途中で日が暮れて桜の下の木陰に宿るならば、桜の花が今夜の主となり、もてなしてくれるであろう。) ●HOME「1 和歌の味わい」83 番 ⑤よみ(競技かるた部の高校生の朗詠であることを伝える。)を聞かせ、歌の読み方を確認させる。 ⑦鑑賞⑨作品トピックスを活用して、俊成が戦乱期に悩みを抱えながら、和歌の道に進む決意をしたことにふれる。また「百人一首」を選定した定家の父であることを押さえる。 「雪月花」という言葉を思い出させ、日本人が昔から自然に託して自分の心を歌にしてきたことを押さえる。 ●HOME「1 和歌の味わい」INDEX の活用 花…8 首(梅=35 番 桜=9. 33. 61. 66. 73. 96 番の6

・花の中で一番多い桜の和歌、9 番・小野小町、33 番・紀友則、61 番・伊勢大輔、66 番・前大僧正行尊、73 番・権中納言匡房、96 番・入道前太政大臣の歌について知る。 6 首の歌の共通点や相違点について考えよう。 ・朗詠を聞きながら、ワークシートの現代語訳から和歌の意味を知る。 ・和歌の味わいの写真や鑑賞からイメージをつかみ、ワークシートにメモを取る。 4. 6 首の桜の歌の共通点と相違点についてグループで話し合い、自分の調べたい桜の歌を決める。 5. 次回はコンテンツを使って各自調べ学習を行うことを予告する。	首 菊＝29 番) ★ワークシート 4 「百人一首の桜の歌を味わおう」の配布 歌の意味を理解させ、必要に応じて時代背景などを説明する。次時の調べ学習のために、基本的なコンテンツの使い方を説明しながら 9 番から順番に提示していく。 各ページを拡大提示して歌の背景を説明する。気づいたこと、印象に残ったこと、疑問点など、各自ワークシートにメモさせる。 ⑤よみを聞かせ、歌の読み方を確認させる。 ⑦鑑賞と⑩桜の写真を活用＝9 番・小野小町、33 番・紀友則、61 番・伊勢大輔、 ⑦鑑賞と⑩桜と大峰山の写真を活用＝66 番・前大僧正行尊、 ⑦鑑賞と⑩桜の写真 2 枚を活用＝73 番・権中納言匡房 ⑦鑑賞と⑩北山第、金閣寺、落花の写真を活用＝96 番・入道前太政大臣 グループの話し合いを参考にして、自分の好きな桜の歌について原稿用紙 340 字から 400 字以内で推薦文にまとめるので、自分が詳しく調べたいことを決めるように指示する。 ※一人一台タブレットのある環境であれば、すぐに調べ学習に入り、協働学習支援ソフトを活用して共通点や相違点について生徒間交流をさせてもよい。
---	---